

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	手術中の吸入麻酔薬及び出力値の違いによる誘発電位測定精度
研究責任者	聖隷浜松病院 臨床工学室 北本憲永
研究実施体制	聖隷浜松病院のみの調査 共同実施施設なし
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~2022年 3月 31日
対象者	2018年1月から2020年12月までの間に聖隷浜松病院せぼねセンター科において、誘発電位測定を行い、手術を施行した患者を対象とする。
研究の意義・目的	脳・脊髄の手術で神経障害を予防する目的で術中の誘発電位の測定を行っている。その測定を確実にするためには麻酔深度や筋弛緩レベルは重要な要因となる。術中の吸入麻酔薬により、麻酔深度や筋弛緩レベルが異なる。そのため、現在当院で使用している吸入麻酔薬と静脈麻酔薬の違いや、吸入麻酔薬の使用濃度の違い及び設定出力により、術中の誘発電位測定精度を後方視的に調査する。
研究の方法	脳・脊椎手術室症例で誘発電位測定を行っている患者について、手術記録及び誘発電位測定結果、術前後の神経学的記録から調査を行う。本研究は後向き研究であるため、研究対象者に生じる負担やリスクはない。また、研究対象者に対する直接の利益は生じない。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 臨床工学室 北本憲永 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日